

姉妹都市サウサリートとのオンライン同窓会を開催

新型コロナウイルスの影響で、姉妹都市サウサリートへの留学生派遣事業がストップする中、過去にサウサリートから坂出を訪問した留学生と、お世話してくれたホストファミリーを繋ぐ同窓会を行いました。本来の留学生派遣・受入時期である7月下旬から8月上旬にかけて3回開催し、画面越しに近況を報告したり、坂出訪問時の思い出話をしたりしました。訪問から数年が経ち、各々社会人や大学生となっていました。成長した姿に“坂出の家族”が目を細めるのを見て、共に育んだ絆の深さを感じることができました。

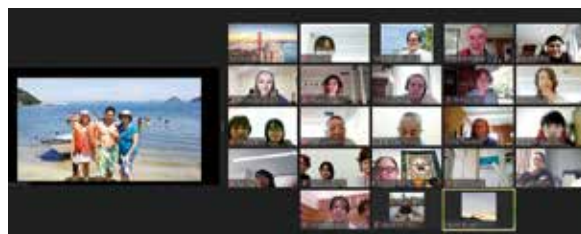
7月24日(土)
2015 年来坂留学生



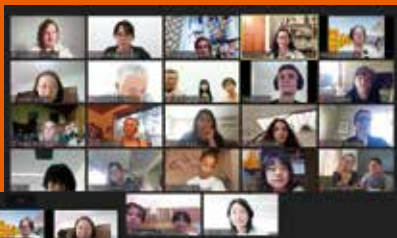
初めてのオンライン同窓会は、手探りの中の開催となり、参加すると聞いていた留学生が参加していないといったハプニングもありましたが、2015 年に来坂した留学生3人と5組7人のホストファミリーの参加がありました。留学生が司会者として主導して、通訳ボランティアにアシストされながら互いに近況報告をしました。中には、高校生の時に坂出を訪問後、日本で学びたいと東京の大学に交換留学したという人がいて、坂出で体験したことの影響を感じました。一方、当時は小さかったホストシスターが大きく成長していたり、高校生だったホストファミリーが立派な社会人となって大人になっている姿に、過去の留学生も随分驚いていました。コロナ禍で坂出にいてもお世話になったホストファミリーと会う機会が減っている中、皆さんにお集まりいただけたのはとても嬉しく思いました。

7月31日(土)
2017 年来坂留学生

一度目の反省を踏まえ、サウサリート側が留学生に出欠を念入りに確認した上で開催した2回目の同窓会には、松本恭直都市間交流委員長のほか、2017 年に来坂した留学生8人と引率者2人、ホストファミリー7組14人ものかたが参加してくれました。留学生達は、コンピューターサイエンスやアニメなど、大学で学んでいることを話してくれ、また卒業して夢を叶えてアニメ制作に携わっている人もいました。大学等で日本語の勉強をしている人も何人かいました。中盤は、坂出での思い出写真を見ながら話が盛り上がり、最後はサウサリート姉妹都市協会 坂出運営協議会の定番ソングである「Sukiyaki (上を向いて歩こう)」を歌ってお開きとなりました。



8月8日(日)
2019 年来坂留学生



最後の同窓会では、参加予定でなかった留学生の飛び込み参加が多く、もっと多くのホストファミリーにお声掛けしたかったと心残りとなる会になりましたが、2019 年に来坂した留学生9人と引率者2人、ホストファミリー4組10人、過去に坂出から派遣された留学生1人が参加してくれました。留学生は、家族との再会を本当に喜んでいて、ホストファミリーが参加していなかった人からは会いたかったと残念がる声も聞こえました。会の後半には、日本で好きだった食べ物、苦手だった食べ物の話に花が咲きましたが、ホストファミリーに申し訳なくて苦手なものが言い出せなかったという話が印象的でした。

最後に、引率者だったハリソン坂出運営協議会委員長から、昨年に引き続き、デジタル交流の一つとして両市を紹介するYouTube動画を募集する話がありました。一例として、留学生として坂出訪問を希望していた現地の高校生が投稿した、サウサリートの自然を紹介した動画を披露してくれました(左下写真参照)。今後も、オンラインでできることを探りながら、地域の繋がりを大事にしつつ、サウサリートとの絆を深められる活動を継続したいと思います。

オンライン同窓会担当 ステファニーミラー さんの同窓会レポート



サウスリット姉妹都市協会 坂出運営協議会の月例ミーティングで、以前に坂出を訪問した留学生とホストファミリーのためのリモート同窓会を開催することが決まりました。これは、コロナ禍の制限中でも、過去の留学生や他の参加者に携わってもらうことで交流プログラムをアクティブに保つためのものです。

私達の計画は、坂出を訪問したここ最近の留学生の Zoom ミーティングを開催するということでした。2015年、2017年、2019年の留学生です。これらの同窓会を企画するための戦略や、過去の留学生への連絡方法について話し合うため、企画会議を何度も行いました。ハリソン チャプマン委員長の発案で、毎回留学生2人にホスト役になってもらうことにしました。彼らは企画過程で重要かつ素晴らしい提案をしてくれました。

最初の2015年の回では、息子のチャールズがホスト役として一緒に参加しましたが、チャールズのホストファミリーの秋山さん家族に再会できて、特に娘さんの成長ぶりに非常に嬉しくなりました。篠原さんは外で熱気球の最中なのに参加してくれたり、松浦くんは大阪の大学の寮から参加してくれたりしました。2017年の回には、大勢の参加があり、獣医の佐藤さんは仕事の合間を縫って参加してくれました。最後の2019年の回では、東京オリンピックでボランティアをしたという小林さんの報告もありました。このように坂出の友との繋がりが、この交流の一番心温まる部分です。参加者は皆、今回の交流をとっても楽しんでいたので、できればこの先も続けたいと思っています。是非私達の Facebook の Sausalito - Sakaide Sister City や、Sausalito Sister Cities のホームページをフォローしてください。また、ハリソン委員長が同窓会でノバト高校の芸術専攻の生徒が作った動画を見せてくれたように、Sausalito Sister Cities の YouTube Channel でも引き続き交流動画を受け付けています。

参加ホストファミリーの感想 (原文ママ)

今回、交換留学生とのオンライン同窓会に参加させていただきました。コロナ禍ということもあり、zoomでの開催でしたが、多数のホストファミリーと、学生たちが参加していました。私は、家に滞在したミランダの顔を見た瞬間、いろんな思い出が頭の中を駆け巡りました。海や温泉へ行ったこと、茄子の料理に感動していたこと。活発な高校生と過ごした10日間。キラキラと輝いた思い出ばかりです。今、オンライン越しに彼女の元気な姿を見ることができ、また、希望していた仕事に就いたというニュースを聞いて、本当に嬉しく思いました。人と会えない昨今、予想外の再会を企画してくださった坂出市国際交流協会の皆様には感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

山地僚子(2017年 HF)

二度経験したホストファミリーの後、新型コロナウイルスの影響でなにも出来ないでいたそんな中、ズームでの同窓会の話を受けた。

画面越しと侮るなかれ、顔を見て手を振りあった途端に懐かしさが込み上げてきた。彼らの進路や成長の中に日本での経験が生きているのかと思うと、一時的な関係ではなく形を変えて繋がっているんだなあ感慨深かった。平和な世界になる一番の近道は世界中に友達を作ることだと聞いたことがある。自由に互いを行き来できる日が来て、若い世代に国や年齢や性別を越えた素晴らしい出会いがありますように。私たちも次のホストファミリーになれる日を楽しみにしている。

懐かしい“ひととき”をありがとうございました。

山本 綾(2017年、2019年 HF)

外国語講座 ～特別編～ 6.27

伝わる！英語発音 集中講座

その他、単語の強勢やリズムの重要性、アメリカ英語に特徴的な連結音についても学びました。ライアン先生からは、英語のニュースや音楽を聴いて声に出して反復練習をすると上達するので「Don't give up!」という言葉いただきました。2時間の講座でしたが、駆け足になってしまったので、この続きを詳しく聞きたいと思う、充実した講座となりました。

ヨーグルト、トンネル、セーター・・・、LとRの発音の違いは？そんな日本人の英語の発音のお悩みに応えるべく、英語の発音やスピーチに詳しいアメリカ出身のライアン ジョーンズさんを講師に迎え、英語の発音に特化した講座を開催しました。

まず、子音や母音を発音するときの様々な音の違い、息の通り方、舌の高さ・前後の位置など、注意点を教わり、次に、日本語と英語の音節の特徴や違い、日本人がカタカナ発音になってしまう仕組み、練習すべき点を学びました。



※発音練習は、マスクを着用し、各自静かに行うなど、感染症対策を講じて実施しました。

異文化理解イベント

イースターの工作を楽しもう！



3月26日、2年ぶりに、春の訪れを知らせるイースターイベントを開催しました。今年はコロナ禍により規模を縮小し、15人の子どもたちが、香川県国際交流員の秋月シンシアさんとオーガスト ホールドリッチさんと一緒に、工作などをしました。

最初に、水のに浸した糸を水風船にぐるぐる巻きつけて作る卵の飾り作りに挑戦し、悪戦苦闘しながらなんとか完成しました。イースターの定番、卵の色付けでは3原色だけでは飽き足らず、様々な色を作って色彩豊かな卵ができあがりました。最後は感染症対策を取りながらできる形でエッグハントも行い、子どもたちはプラスチックの卵の中身に顔をほころばせながらイースターの醍醐味を味わっていました。



インドネシアの文化を知ろう



今年最初の国際理解講座は、講師にジャワ舞踊家で通訳の大石麻未さん、ゲストに市内で技能実習生として働くインドネシア出身のリナ スサンティさんとユスニタ アル アウィヤー ユスフさんを迎え、坂出市在住の外国出身者の中で3番目に多いインドネシアの文化について教えてもらいました。

まず、大石さんより、中部ジャワ ジョグジャカルタ王宮舞踊の披露と、多彩で魅力的な島々、文化、インドネシア語のあいさつ・数字などを教わり、参加者は、あいさつ・自己紹介・今朝起きた時間を伝え合うゲームに挑戦しました。ゲストのお二人は、講座当日がラマダン(断食月)中のため、断食前の午前3時に起きて食事をしたそうで、ラマダン中の日常生活を垣間見ることができました。

ゲストからは、ムスリムが行うラマダン(断食月)や大祭レバランを映像とともに紹介してもらいました。レバランは、ラマダン明けを祝う人々の熱気に満ちており、大切な行事であることが分かりました。また、親戚の家へあいさつに行き、子どもにお年玉のようなものを渡すなど、日本のお正月に似た習慣があることを教えてもらい、とても親近感が湧きました。

参加者は、講師やゲストとの交流を通じて、インドネシアをさらに身近な国に感じる事ができたようです。

なま さや
Nama Saya ○○(私の名前は○○です)



イギリスのゲームに親しもう



2回目の国際理解講座では、イギリス出身で県内在住の福留アンジェラさんを講師に迎え、紙とペンとサイコロがあれば誰でも楽しめるゲーム「ビートルドライブ(Beetle Drive)」を教してもらいました。

このゲームは、イギリスの家で客人を招き入れる応接室「パーラー(parlour)」で行われていたことから「パーラーゲーム(parlour game)」と呼ばれ、テレビのない時代から、お正月やクリスマスに人が集まったときに楽しまれてきたそうです。今ではチャリティ活動で寄付を募る際に、大勢で楽しむゲームとしても親しまれているようです。年齢や人数を問わず夢中になれるこのシンプルなゲームは、着席したままできるので、ソーシャルディスタンスが求められる今の時代にもぴったりです。坂出市のホームページ「国際理解講座」のページにゲームシートを掲載しています。ぜひご家庭で楽しんでみてください。



に ほ ん ご



坂 出

日本語ボランティアのキョさんから、日本語教室でのボランティア活動について寄稿いただきました。

私は台湾出身のキョです。転職がきっかけで 2019 年 5 月に坂出にやってきました。仕事でやりがいも感じるし、新しい環境にもすぐ慣れたので、いつも今住んでいるこの町に何かお役に立ちたいと考えています。ある日、ベトナム人の同僚に日本語教室を手伝ってほしいと声をかけられて、うれしかったです。しかし、最初は学習者と自分のペースが把握できなくて苛立ったり、悩んだりしていました。そんな時、休めばいいと言われ救われました。

ボランティアって響きはいいいですが、国籍を問わず、社会人としての責任だと私は考えています。そして、ボランティアを通じて教えられることが多いと思いますので、これからも「今日、日本語教室に来てよかった」と思われるように無理せず頑張ります。

在住外国人の支援につながる日本語ボランティア・通訳・翻訳ボランティア募集

興味のある方や外国語の得意な方がいましたら、ぜひご紹介ください。日本語教室は、開催時は見学も可能です。ボランティア登録申込み・見学申込みは、事務局までお問い合わせください。



参加者募集



おうちで楽しむ！ ハロウィーンパーティのグッズを作ろう

日時：10月23日（土）

午前9時30分から11時（予定）

場所：坂出市民ふれあい会館

費用：300円（会員とその同居家族）※一般400円

定員：15名（満3歳児～小学生）

※小学4年生以下のかたには保護者の同席と必要に応じた作業補助をお願いします。

申込：下記事務局に電話かメールで。

10月1日（金）申込開始 ※先着順で受付

※必要事項はお名前・学年（未就学児は年齢）・郵便番号・住所・電話番号



外国人住民に伝わる「やさしい日本語」研修 for さかいで131(ぼうさい)おとめ隊 8. 31

坂出市の外国人住民数がこの5年で約1.9倍と増加する中、外国人住民にも理解しやすく、日本人が外国語を習得しなくても話せる「やさしい日本語」の重要性が高まっています。そこで、日本語ボランティアの福田照子さんを講師に迎え、防災対策を推進する市職員有志チーム「さかいで131おとめ隊」にその極意や使い方を学ぶ研修を行いました。

参加者からは、「高齢者に伝えるときにも使えると思った」、「日常的に意識しなければ身につかないのでトレーニングしたい」などの声をいただきました。今後も「やさしい日本語」の普及を推進したいと思います。



坂出市の外国籍住民数 (2021 年9月)

国 籍	人 数
ベトナム	262人
中国	175人
インドネシア	125人
フィリピン	112人
カンボジア	69人
ラオス	68人
タイ	53人
他 22 개국・地域	100人
合 計	964人
坂出市人口比	1.87%

ボランティアのことやイベント情報など、是非チェックしてみてください



坂出市国際交流協会

検索



←協会 facebook はこちらから！！

※在住外国人向け情報も「やさしい日本語」で発信中！

編集・発行

坂出市国際交流協会事務局

〒762-8601 香川県坂出市室町二丁目3番5号(坂出市秘書広報課内)

Tel: 0877-44-5000 Email: kokusai@city.sakaide.lg.jp

編集後記

交流イベント「在住外国人といっしょに桜ウオーク」(4月4日)は雨天中止、国際理解講座「CIR と話そう！ サバイバル韓国語と茶話会」(6月2日)は新型コロナ拡大のためやむなく中止となりましたが、外国語講座を一部オンラインにするなど、皆様に協力いただきつつ試行錯誤の毎日です。